

## 議案第57号 一般会計補正予算・賛成討論 教育環境委員会

2020年6月10日 松本ひろかず

議案第57号 一般会計補正予算の、小・中学校情報教育推進事業については、今後予算化するうえで、慎重に行う必要があることを申し述べて賛成いたします。

今回の補正では、校内通信ネットワークを整備ために、3億8522万円もの多額の予算が計上されています。

これは、文科省の「ギガスクール構想の実現」によるもので、児童・生徒1人1台の端末が使えるようにする、そのために、校内通信ネットワークを整備する、ということですが、以下、4点指摘しますので、よく検討して導入することを提案します。

- ① 義務教育では、しっかりとした基礎学力をつけることが重要です。そのためには、声を出して読み、鉛筆を使って書くなどは、きわめて大切です。パソコンを多用することは、かえって基礎学力を身に着けるうえで弊害になることがあることを肝に銘じて、教育にあたることが大切です。
- ② 果たして、児童・生徒全員にパソコン・タブレット端末を整備する必要があるのか、ということです。特に小学校低学年は、読み・書き・計算などの基礎・基本の学習をしっかりとおこなうことが大切であることは、言うまでもありません。小学校低学年にはパソコン・タブレットは不必要と思います。
- ③ パソコン・タブレットの導入は教員の、さらなる多忙化に拍車をかけることになります。今年4月から教育課程で、授業時間が増え、コロナ対策のために、授業時間の確保が難しくなっている状況のなかで、教員はきわめて多忙になっています。1時間の授業には、1時間の準備が必要とされています。導入するうえでは、しっかりとした研修が必要ですが、その時間確保は難しいと思いますので、専門職員の配置を求めます。
- ④ 1人1台端末の整備には、多額の予算が必要です。導入後にも、メンテナンス、ソフトやデジタル教材の購入など様々な費用がかかります。

いま、特に必要としているのは、少人数学級にすること、教職員の増員、トイレなどの施設・設備の改修です。優先順位をつけるなら、こちらが先です。

かつて、多額の予算をかけて、すべての中学校に英語の語学実習、LL教室が設置され、ほとんど利用されずなかったという苦い経験があります。「ギガスクール構想」が同じようになるのではないかと危惧します。

したがって、今回の校内通信ネットワークを整備したうえで1人1台端末の整備については、十分検討することを求めます。

以上のことを申し述べて、賛成討論とします。

